



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 日本ピストンリング株式会社

上場取引所 東

コード番号 6461 URL <http://www.npr.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 越場 裕人

TEL 048-856-5011

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,998	5.6	1,654	△18.2	1,673	△8.5	1,043	△39.9
25年3月期第3四半期	35,979	△1.6	2,023	△30.6	1,829	△25.2	1,734	△27.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,460百万円 (79.2%) 25年3月期第3四半期 1,930百万円 (30.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.69	12.67
25年3月期第3四半期	21.12	21.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	62,027	24,279	39.0	294.71
25年3月期	61,241	22,716	34.8	259.46

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 24,221百万円 25年3月期 21,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	6.3	2,500	12.3	2,300	5.3	1,400	△30.5	17.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	83,741,579 株	25年3月期	83,741,579 株
26年3月期3Q	1,554,117 株	25年3月期	1,587,666 株
26年3月期3Q	82,178,112 株	25年3月期3Q	82,148,351 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調が定着しつつあることや株高進展等により景況感に改善が見られました。世界経済は、北米で景気回復基調にあるものの、欧州諸国における長引く債務問題のほか、新興国の成長率の鈍化等が見られました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、円安により輸出は回復傾向にあり、日系自動車メーカーの海外生産も緩やかな増加基調にあるものの、当社においては製品改廃をすすめたこと等により、売上高は379億98百万円と前年同四半期比5.6%増となりました。

損益面におきましては、第1四半期に海外拠点における税金還付請求訴訟に関する費用を計上した影響等により、営業利益は16億54百万円と前年同四半期比18.2%減、経常利益は16億73百万円と前年同四半期比8.5%減となり、四半期純利益は前年同四半期に受取補償金等の特別利益を計上したこともあり、10億43百万円と前年同四半期比39.9%減となりました。

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、国内外の自動車生産が増加基調にあり、主力製品であるピストンリングやバルブシート等の受注が増加した影響により、売上高は335億49百万円（前年同四半期比6.2%増）となったものの、海外拠点において税金還付請求訴訟に関する費用を計上した影響等により、セグメント利益は15億2百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

② 舶用・その他の製品事業

舶用・その他の製品事業は、円高の是正により受注状況は回復傾向にあり、売上高は11億40百万円（前年同四半期比11.4%増）となり、セグメント利益は1億34百万円（前年同四半期比322.2%増）となりました。

③ その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、既存製品の受注減少により、33億8百万円（前年同四半期比1.9%減）となり、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比88.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、7億円86百万円増加し、620億27百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」の増加8億58百万円、設備投資による「有形固定資産」の増加12億2百万円及び保有株式の株価上昇に伴う「投資有価証券」の増加17億20百万円に対し、「現金及び預金」の減少22億36百万円及び流動資産「その他」の減少5億61百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億76百万円減少し、377億48百万円となりました。これは主に、借入金の返済を進めたことによる「有利子負債」の減少9億21百万円、また「設備関係支払手形」の減少10億70百万円に対し、「営業外電子記録債務」の増加5億61百万円、また「繰延税金負債」の増加5億75百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、15億62百万円増加し、242億79百万円となりました。これは主に、「その他有価証券評価差額金」の増加11億11百万円、「為替換算調整勘定」の増加11億49百万円及び「利益剰余金」の増加6億30百万円に対し、エヌティー ピストンリング インドネシア社を100%完全子会社化したことによる「少数株主持分」の減少13億51百万円があったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて22億37百万円減少し、49億26百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、49億59百万円の収入（前年同四半期比9億3百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億73百万円となり、減価償却費が29億83百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、52億53百万円の支出（前年同四半期比32億37百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得35億87百万円及び子会社株式の追加取得による支出15億45百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億43百万円の支出（前年同四半期比17億49百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済を進めたことにより長期借入金が19億23百万円減少したこと、また配当金を4億7百万円支払したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月11日に公表いたしましたものに変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,165	4,928
受取手形及び売掛金	7,938	8,796
たな卸資産	7,930	8,083
繰延税金資産	638	494
その他	1,290	729
貸倒引当金	△44	△34
流動資産合計	24,918	22,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,133	8,352
機械装置及び運搬具（純額）	10,835	11,472
土地	5,018	5,058
建設仮勘定	1,904	2,144
その他（純額）	809	876
有形固定資産合計	26,701	27,904
無形固定資産合計	969	993
投資その他の資産		
投資有価証券	7,167	8,887
長期貸付金	9	5
繰延税金資産	235	255
その他	1,379	1,105
貸倒引当金	△140	△122
投資その他の資産合計	8,651	10,133
固定資産合計	36,322	39,030
資産合計	61,241	62,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,089	4,688
電子記録債務	—	2,376
短期借入金	4,777	5,831
1年内返済予定の長期借入金	3,662	2,556
リース債務	387	425
未払法人税等	301	360
災害損失引当金	22	—
設備関係支払手形	2,066	995
営業外電子記録債務	—	561
その他	3,150	3,011
流動負債合計	21,457	20,808
固定負債		
長期借入金	11,262	10,448
リース債務	1,541	1,447
繰延税金負債	752	1,327
退職給付引当金	3,292	3,556
その他	219	159
固定負債合計	17,067	16,939
負債合計	38,524	37,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	5,254	5,884
自己株式	△349	△342
株主資本合計	20,620	21,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,780	3,892
繰延ヘッジ損益	△30	△22
為替換算調整勘定	△2,054	△905
その他の包括利益累計額合計	695	2,963
新株予約権	13	21
少数株主持分	1,387	35
純資産合計	22,716	24,279
負債純資産合計	61,241	62,027

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	35,979	37,998
売上原価	28,322	29,775
売上総利益	7,656	8,222
販売費及び一般管理費	5,633	6,567
営業利益	2,023	1,654
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	100	151
為替差益	8	80
その他	119	165
営業外収益合計	233	403
営業外費用		
支払利息	307	256
その他	119	128
営業外費用合計	427	384
経常利益	1,829	1,673
特別利益		
補助金収入	43	—
災害損失引当金戻入額	67	—
受取補償金	514	—
特別利益合計	625	—
税金等調整前四半期純利益	2,455	1,673
法人税、住民税及び事業税	480	598
法人税等還付税額	△57	—
法人税等調整額	166	84
法人税等合計	589	682
少数株主損益調整前四半期純利益	1,865	991
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	130	△51
四半期純利益	1,734	1,043

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,865	991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	1,111
繰延ヘッジ損益	△28	7
為替換算調整勘定	7	1,349
その他の包括利益合計	65	2,469
四半期包括利益	1,930	3,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,803	3,311
少数株主に係る四半期包括利益	127	148

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,455	1,673
減価償却費	2,787	2,983
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△258	△22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△29
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	221	257
受取利息及び受取配当金	△105	△156
支払利息	307	256
為替差損益 (△は益)	△8	△80
受取補償金	△514	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,262	△81
たな卸資産の増減額 (△は増加)	186	383
未収入金の増減額 (△は増加)	△390	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	△900	△447
その他	△747	404
小計	4,299	5,141
利息及び配当金の受取額	105	156
利息の支払額	△281	△244
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△581	△593
補償金の受取額	514	—
補助金の受取額	—	499
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,055	4,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,923	△3,587
無形固定資産の取得による支出	△98	△25
子会社株式の取得による支出	—	△1,545
その他	5	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,015	△5,253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	224	690
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△3,345	△2,323
配当金の支払額	△244	△407
少数株主への配当金の支払額	△261	△190
その他	△265	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,892	△2,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,870	△2,237
現金及び現金同等物の期首残高	7,697	7,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,827	4,926

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	舶用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,584	1,023	32,607	3,371	35,979	—	35,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,584	1,023	32,607	3,371	35,979	—	35,979
セグメント利益	1,840	31	1,871	151	2,023	—	2,023

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	舶用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,549	1,140	34,690	3,308	37,998	—	37,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	33,549	1,140	34,690	3,308	37,998	—	37,998
セグメント利益	1,502	134	1,637	17	1,654	—	1,654

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

自動車関連製品事業において、第2四半期連結会計期間にエヌティー ピストンリング インドネシア社の株式を少数株主より取得し、完全子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては93百万円であり、当第3四半期累計期間における償却額は4百万円であります。